



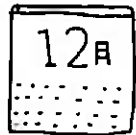
ほけんだより

令和2年1月号
保育園コスモス

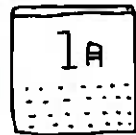
寒さの中でも、元気いっぱいな子どもたち。気温が低く空気が乾燥しているこの季節に流行するインフルエンザや胃腸炎などのいろいろな感染症を寄せ付けない丈夫な身体作り、環境作りに気を配り、寒い冬を元気に乗り切りましょう。

☆11・12月の感染症☆

厚木市内で手足口病が流行し、保育園コスモスでも11月・12月で19名の子どもが罹りました。そのほかには溶連菌感染症が1名、突発性発疹が1名いました。



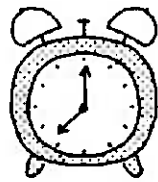
年末年始の生活リズム



年末年始は慌ただしく、どうしても大人のリズムで過ごしがちになってしまいます。イベントが多いこの時期、なにがなんでも子ども優先、というわけにはいかないこともありますが、子どもの睡眠のリズムだけは守りたいものです。夜寝る時間、朝起きる時間はできるだけいつもの通りに過ごすよう心がけましょう。生活リズムをなるべく崩さないことが健康的に過ごすコツです。



おはよう



おやすみ



手足口病ってどんな病気？

先にもお伝えしたとおり、手足口病が大流行しました。手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。保育園では症状のあるお子さんには医療機関での受診をお願いしました。手足口病と診断されたらお医者さんの指示にしたがい1日~5日お休みし、体調が良くなってから登園してくる子が多かったです。手足口病とはどんな病気なのか、お伝えします。

Q. 手足口病とはどのような病気ですか？

A. 手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。



Q. どのようにして感染するのですか？

A. 主な感染経路は、飛沫感染、接触感染、および経口感染です。手洗いうがいをていねいにし、感染を防ぎましょう。

Q. 重篤化することはあるのですか？

A. 無菌性髄膜炎を合併することがあり、発熱や頭痛、嘔吐がみられます。まれではありますが、脳炎を合併することがあります。

手足口病にかかった子どもの経過を注意深く観察し、合併症に注意をする必要があります。



今年も子どもたちが健康に過ごせるよう、ほけんだよりを通して病気の予防法などをお知らせしていきます。本年もよろしくお願いいたします。